ThinkVantage

Access Connections デプロイメント・ガイド

更新: 2012 年 11 月

注：本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、37 ページの 付録 B『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

第 4 版 (2012 年 11 月)

目次

序文

本書は、IT 管理者、または Access Connections™ プログラムを組織内のコンピューターに配布する担当者を対象としています。本書は、Access Connections を複数の PC にインストールするために必要な情報を提供することを目的としています。同ソフトウェアのライセンスが各ターゲット PC で有効であることが条件となります。Access Connections は、管理者およびユーザーがアプリケーション自体の使用に関する情報を参照できるアプリケーション・ヘルプを提供します。

ThinkVantage® Technologies は IT プロフェッショナル向けに開発されたもので、IT プロフェッショナルが直面する可能性がある固有の課題に対応します。本書には、Access Connections で作業するための指示および解決法が掲載してあります。ご提案またはコメントは、Lenovo® 認定担当者にご連絡ください。総所有コスト (TCO) の低減に役立つ製品の詳細情報や、本ガイドの定期的な更新を確認するには、次の Web サイトにアクセスしてください。

http://www.lenovo.com.cn/

第 1 章 概要

Access Connections は、ワイヤレス LAN などさまざまなネットワーク接続の構成を援助する接続支援プログラムです。ユーザーは、自宅や職場など特定の場所からクライアント PC をネットワークに接続するために必要な、ネットワークとインターネットの構成設定値を保存するためのロケーション プロファイルを作成し、管理できます。モデム、有線ネットワーク・アダプター、ブロードバンド (DSL、ケーブル・モデム、ISDN など)、ワイヤレス WAN、WiMax、またはワイヤレス・ネットワーク・アダプターを使用して、ネットワーク接続を行うことができます。仮想プライベート・ネットワーク (VPN) 接続もサポートされます。PC をさまざまな場所に移動するたびにロケーション・プロファイルを切り替えることによってネットワークに素早く簡単に接続できるので、手動でネットワーク設定値を再構成する必要はありません。ロケーション・プロファイルは、高度なセキュリティー設定、デフォルト・プリンター、プロキシー設定、Web ブラウザーのホームページ、アプリケーションの自動起動などを設定することができます。

Access Connections には、イーサネット接続、ワイヤレス LAN 接続、ワイヤレス WAN 接続、および WiMax 接続の自動ロケーション切り替えをサポートする機能があります。

機能

Access Connections には、ワイヤレス接続およびネットワーク接続を素早くまた楽に検出できる以下の機能があります。

- **新規ロケーション・プロファイルの作成**
  Access Connections には、ロケーション・プロファイルの作成に役立つウィザードがあります。 ロケーション・プロファイルは、さまざまなタイプのネットワークに接続するために必要な設定値を定義します。Access Connections を始動すると、『インターネットに接続する』ビューが開きます。
- **ロケーション・プロファイルと接続状況の表示**
  『インターネットに接続する』ビューを使用して、接続タイプごとに使用可能なネットワークとそれぞれのロケーション・プロファイルに関連するネットワーク接続の状況を表示できます。
- **ロケーション・プロファイル間の切り替え**
  Access Connections には、ロケーション・プロファイルを変更する機能があります。リストから別のロケーション・プロファイルを選択して接続するだけで、プロファイルを切り替えることができます。進行標識ウィンドウに、接続の状態が表示されます。接続が失敗した場合は、接続の修正に役立つボタンが表示されます。
- **ワイヤレス接続**
  Access Connections は、ワイヤレス WAN および Bluetooth に対応しています。第三世代携帯電話技術の導入により、ネットワークへの高速ワイヤレス接続を可能にする有効な代替機能として、ワイヤレス WAN サービスが登場しました。ただし、日本ではこの機能はサポートされていません。
- **ワイヤレス・ネットワークの検索**
  Access Connections は、ワイヤレス・アダプターの範囲内にあるワイヤレス・ネットワークを検索できます。この機能は、移動中や公共の場所にいるときに、使用可能なワイヤレス・ネットワークがあるかどうかわからない場合に便利です。検出されたすべてのワイヤレス・ネットワークへの接続を試行でき、接続の試行が成功した場合は、検出されたワイヤレス・ネットワーク名とデフォルト設定値を使用して、ワイヤレス用のロケーション・プロファイルが新規に作成されます。適切な設定値が分かっていれば、検出されたワイヤレス・ネットワーク用のロケーション・プロファイルを手動で作成することもできます。
- **ロケーション・プロファイルの自動切り替え**
  現在適用されているロケーション・プロファイルに関連したネットワークが使用不可になった場合、Access Connections は使用可能なネットワークを検索し、該当するロケーション・プロファイルに自動的に切り替えることができます。ワイヤレスのロケーション・プロファイルとイーサネットのロケーション・プロファイルの間で、自動切り替えが可能です。ワイヤレス優先順位リストを設定することにより、ご使用の PC が複数のワイヤレス・ネットワークの範囲内にある場合、または複数のロケーショ

ン・プロファイルが同じワイヤレス・ネットワーク名を使用している場合に、どのワイヤレス・ロケーション・プロファイルをアクティブにするか定義できます。

- **リモートでのロケーション・プロファイルの作成 (配布管理者専用)**
  Access Connections の管理者は、クライアント・コンピューターにデプロイメントするためのロケーション・プロファイルを定義できます。

Access Connections のプロファイル配布に関する考慮事項

ユーザーが接続を試行するさまざまな場所、およびそのロケーションで使用可能な接続の種類に関する情報を収集すると、ユーザーがインポートして直ちに使用できることが可能となります。初期イメージで配布できる作業の構成をプロファイルに取り込むことにより、ユーザーは手動でプロファイルを作成することなしにネットワーク接続を即時に利用できます。

管理者機能イネーブラー・ツールにより、Access Connections を企業環境で実行すると、ロケーション・プロファイル、共通設定、およびクライアント構成ポリシーを個人または個人のグループに配布するタスクが単純化されます。プロファイルおよび設定値の配布は、初期システム配布時に企業イメージの一部として、またはシステムが現場に設置された後に標準のリモートでの配布の方法を使用して実行できます。

プロファイル配布の要件および仕様

サポートされる ThinkPad® およびワイヤレス WLAN と WAN ドライバーの現行リストを表示するには、次の Web サイトを参照してください。

- Windows XP:

  http://support.lenovo.com/en_US/downloads/detail.page?DocID=DS013660
- Windows Vista:

  http://support.lenovo.com/en_US/downloads/detail.page?&LegacyDocID=MIGR-67283
- Windows 7:

  http://support.lenovo.com/en_US/downloads/detail.page?DocID=DS013683

Access Connections のプロファイル配布機能

Access Connections 管理者プロファイル配布機能は、クライアント・ユーザー用に作成したロケーションプロファイルを配布するために必要です。管理者プロファイル配布機能は、次のサイトで IT 管理者のみを対象に提供されています。
http://support.lenovo.com/en_US/research/hints-or-tips/detail.page?&LegacyDocID=ACON-DEPLOY

管理者プロファイル配布機能の詳細については、7 ページの 第 3 章『管理者機能を処理する』を参照してください。

以下のリストは、IT 管理者が Access Connections を配布および管理する上で役立つ機能を示しています。

- 管理者は、ロケーション・プロファイルを作成して、企業イメージの一部として配布するか、クライアント・システムが配布された後にインストールできます。
- 配布制御リストを作成して、さまざまな配布パッケージをインポートできるユーザーを制限できます。
- クライアント構成ポリシーを設定して、クライアント PC での Access Connections の操作を構成できます。

- 配布パッケージは、暗号化およびパスワード保護が可能であるため、許可された個人のみがワイヤレス・セキュリティー情報 (たとえば WEP や静的パスワードなど) を含むロケーション・プロファイルをインポートできます。

第 2 章 Access Connections のインストール

ここでは、Access Connections のインストール手順について説明します。

Access Connections のサイレント・インストール

Access Connections をサイレント・インストールする手順は、以下のとおりです。

1. Microsoft® Windows® XP、Windows Vista®、または Windows 7 を起動し、管理者権限でログオンします。
2. Access Connections のソフトウェア・パッケージをハードディスクに解凍します。
3. 管理者権限で『コマンド プロンプト』ウィンドウを開きます (該当する場合)。
4. 以下のコマンドを使用して、Access Connections をインストールします。
   a. 手動でインストールするには、次のように入力します。

      ```
      <path>¥setup.exe
      ```

   b. サイレント・インストールを行うには、次のように入力します。

      ```
      <path>¥setup.exe -S-SMS [Windows XP]
      <path>¥setup /s /v"/qn REBOOT=ReallySuppress" [Windows Vista または 7]
      ```

   c. 特定のデバイスがサポートされるようにインストールするには [Windows Vista および 7 のみ]

      Access Connections でサポートしない特定のデバイスについて、そのデバイス・タイプと 『=No』 を追加します。デバイス・タイプは LAN、WLAN、WWAN、WIMAX、および MODEM から選択します。次に例を示します。

      ```
      <path>¥setup.exe /v"MODEM=No WWAN=No"
      ```

      Access Connections では、LAN と WWAN の接続が管理対象から除外されます。それ以外の場合、デフォルトでは、Access Connections を使用して上記のすべてのデバイス (存在する場合) を管理します。

注：Access Connections をインストールする場合は、ご使用のオペレーティング・システム専用に設計されたバージョンをインストールします。他のバージョンの Access Connections は、オペレーティング・システムが不適切なため、正常に機能しないことがあります。

第 3 章　管理者機能を処理する

この章では、Access Connections の管理者機能を使用可能にし、使用するために必要な情報を説明します。

管理者機能を使用可能にする

管理者機能を使用可能にする前に、Access Connections がご使用のシステムにインストールされている必要があります。管理者機能を使用可能にするには、以下の手順を実行します。

1. Access Connections をクライアント・システムに配布するには、管理者プロファイル配布 (Administrator Profile Deployment) 機能を、次の Lenovo Web サイトからダウンロードしてインストールします。
   http://support.lenovo.com/en_US/research/hints-or-tips/detail.page?&LegacyDocID=ACON-DEPLOY

   注：Access Connections のインポート/エクスポート機能は、プロファイルの移行に対してのみ使用されます。インポート/エクスポート機能を Access Connections の配布には使用しないでください。
2. 次のパスにインストールされている AdmEnblr.exe [Windows XP] または AdminEnabler.exe [Windows Vista / 7] を実行します。
   `C:¥Program Files¥ThinkPad¥ConnectUtilities [Windows XP]`
   `C:¥Program Files¥lenovo¥Access Connections [Windows Vista または 7]`
3. 『**有効にする**』をクリックしてから、『**終了**』をクリックします。『拡張』ビューの『ツール』タブに配布パッケージを作成および編集するためのアイコンが作成されます。
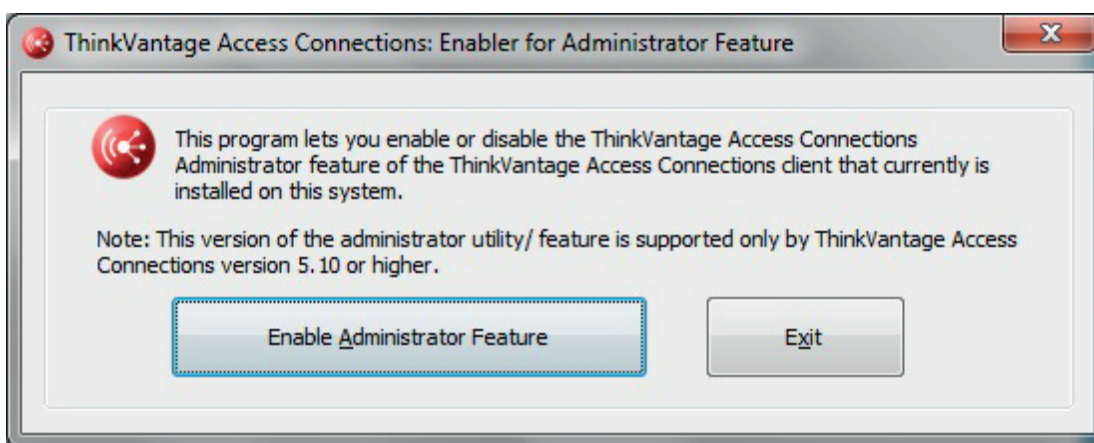
図 1. 管理者プロファイル配布機能を使用可能にする

4. 『**管理者機能を使用可能にする**』クリックします。
5. 『**終了**』をクリックして、イネーブラーを閉じます。
6. Access Connections を開始します。

管理者機能を使用する

管理者機能を使用可能にした後は、配布パッケージを作成または編集することにより、ユーザーのためのロケーション プロファイルを管理できます。配布パッケージにはファイル拡張子の .loa が付けられ、Access Connections により使用されるロケーション プロファイルのメタデータが入っています。以下の手順は、Access Connections の管理者機能を使用するための理想的なシナリオです。

1. Access Connections を使用して、ロケーション プロファイルを作成します。ロケーション プロファイルを作成するときは、以下のシナリオを考慮します。
   - オフィスでの接続
   - 自宅での接続
   - 支社や営業所などでの接続
   - 移動中の接続およびホット・スポットでの接続

   ロケーション・プロファイルの作成方法、または Access Connections の使用方法の説明については、アプリケーションの『Access Connections のヘルプ』を参照してください。
2. 管理者プロファイル配布機能を使用して、配布パッケージを作成または編集します。
3. 配布パッケージをクライアント・システムに配布します。

配布パッケージを作成する

配布パッケージを作成するには、以下の手順を実行します。

1. 右上隅にある『**アドバンス**』ボタンをクリックします (ベーシックとして表示しない場合)。次に『**ツール**』タブをクリックすると、下部に『**配布パッケージの作成**』と『**配布パッケージの編集**』が表示されます。『**配布パッケージの作成**』をクリックします。
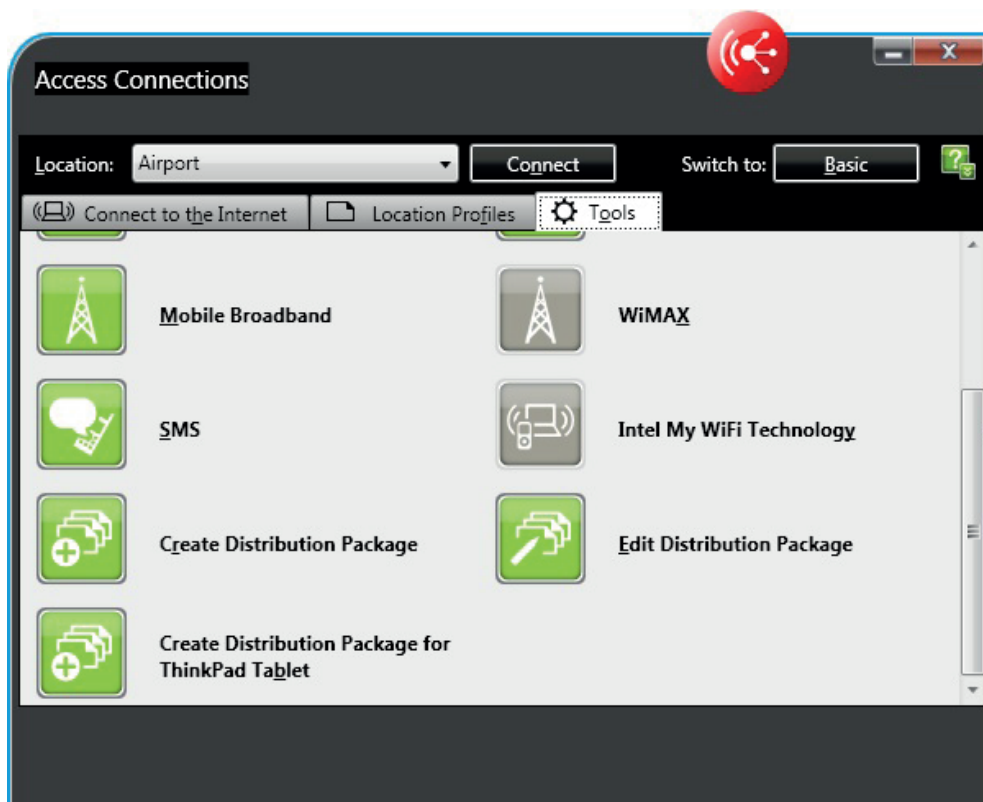
図 2. 配布パッケージの作成機能の検索

2. 配布するロケーション・プロファイルを選択します。選択したプロファイルが暗号化の使用可能な無線 LAN プロファイルを含む場合、機密データが公開されないよう確認するために、ワイヤレス設定がプロンプト表示されます。ワイヤレス・ネットワーク接続を使用するロケーション・プロファイルを配布する場合、ドナーおよび受信側に、ロケーション・プロファイルで定義される機能をサポートしているワイヤレス・アダプターが組み込まれている必要があります。

図 3. Windows XP 用の配布パッケージの作成
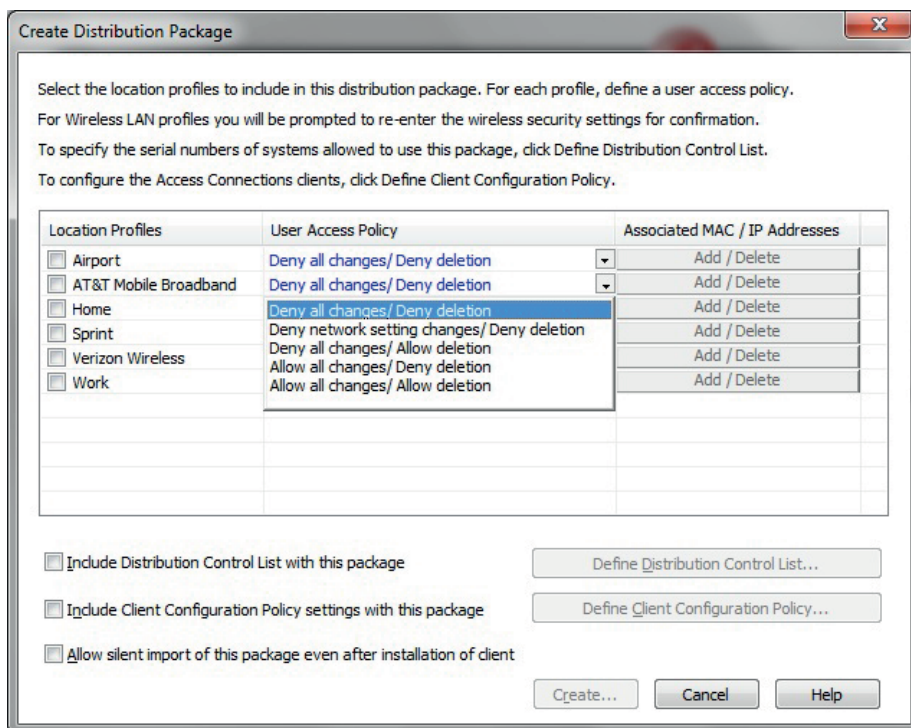
図 4. Windows Vista および Windows 7 用の配布パッケージの作成

3. ドロップダウン・メニューから『**ユーザー アクセス ポリシー**』を選択します。ユーザー・アクセス・ポリシーは、特定のプロファイルを対象とする制約事項を定義します。ユーザー・アクセス・ポリシーはプロファイルごとに定義でき、以下の選択肢があります。

- **すべての変更を拒否/削除を拒否:** ユーザーは、プロファイルで変更、コピー、または削除などの操作を実行することができません。
- **ネットワーク設定の変更を拒否/削除を拒否:** プロファイルのネットワーク設定値を変更、削除、またはコピーできません。変更不可能なパラメーターは TCP/IP 設定、拡張 TCP/IP 設定、およびワイヤレス設定です。プロファイルを削除できません。
- **すべての変更を拒否/削除を許可:** ユーザーはプロファイルを変更またはコピーできません。ただし、ユーザーはプロファイルを削除することができます。
- **すべての変更を許可/削除を拒否:** ユーザーはプロファイルを変更できます。ただし、プロファイルを削除することはできません。
- **すべての変更を許可/削除を許可:** ユーザーは、プロファイルを変更、コピー、および削除できます。

4. 選択したプロファイルの『**関連 MAC / IP アドレス**』の下にある『追加/削除』をクリックします。これによって、ロケーションの切り替えのために、ネットワーク・ルーターの MAC アドレスまたは IP アドレスの設定をイーサネット対応プロファイルに関連付けることができます。この結果、ロケーションの切り替えが有効な不明なイーサネット接続と接続するときに、ポップアップ・メッセージが表示されなくなります。
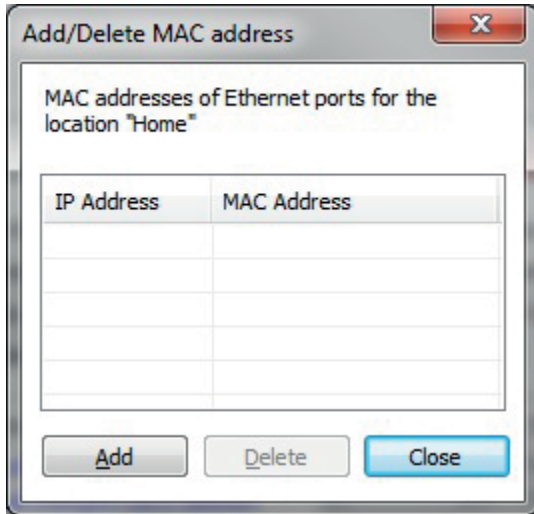
図 5. MAC アドレスまたは IP アドレスの追加または削除
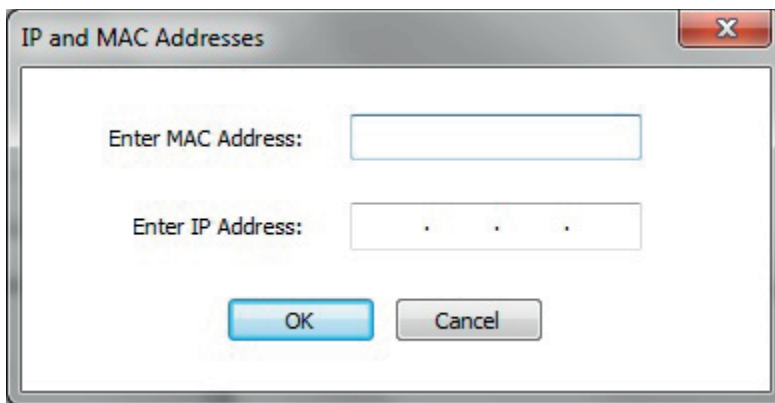
図 6. MAC アドレスまたは IP アドレスの入力

5. 以下のオプションに対して Access Connections ポリシー設定を定義します。
   - 12 ページの 『配布制御リストをこのパッケージに組み込む』
   - 13 ページの 『クライアント構成ポリシー』
   - 22 ページの 『PAC AID グループ (Windows XP のみ)』
   - 25 ページの 『クライアントのインストール後でもこのパッケージのサイレント・インポートを許可する』
   - 25 ページの 『アクティブなロケーション・プロファイルの選択』
6. 『**配布パッケージの作成**』ウィンドウの下部にある『**作成**』ボタンをクリックします。
7. プロンプトが出たら、パスフレーズ (パスワード) を入力して *.loa ファイルを暗号化します。クライアント・システム上に配布パッケージ (*.loa) をインポートするには、これと同じパスフレー

ズが必要です。配布パッケージを自動的にインポートするのに必要な *.sig ファイルでも、パスフレーズは暗号化されます。

8. 『ロケーション プロファイルのエクスポート』ダイアログ・ボックスで、該当するディレクトリー・パスにナビゲートし、使用する .loa ファイルの名前を入力します。配布に必要な .loa ファイルと .sig ファイルは、デフォルトで、`C:¥Program Files¥ThinkPad¥ConnectionUtilities¥Loa` ディレクトリー (Windows XP) または `C:¥Program Files¥lenovo¥Access Connections` ディレクトリー (Windows Vista または 7) に保存されます。

   注意：イメージの配布の場合、*.loa ファイルと *.sig ファイルは Access Connections インストール・ディレクトリーに存在している必要があります。たとえば、`C:¥PROGRAM FILES¥ThinkPad¥CONNECTUTILITIES` (XP) または `C:¥PROGRAM FILES¥LENOVO¥ACCESS CONNECTIONS` (Vista または Win7) です。

9. 『**保存**』をクリックします。

Access Connections のポリシーを定義する

以下の設定は、ユーザーに対する Access Connections ポリシーを制御します。

配布制御リストをこのパッケージに組み込む

この設定は、PC のシリアル番号に基づいて配布制御リストを定義するために使用します。
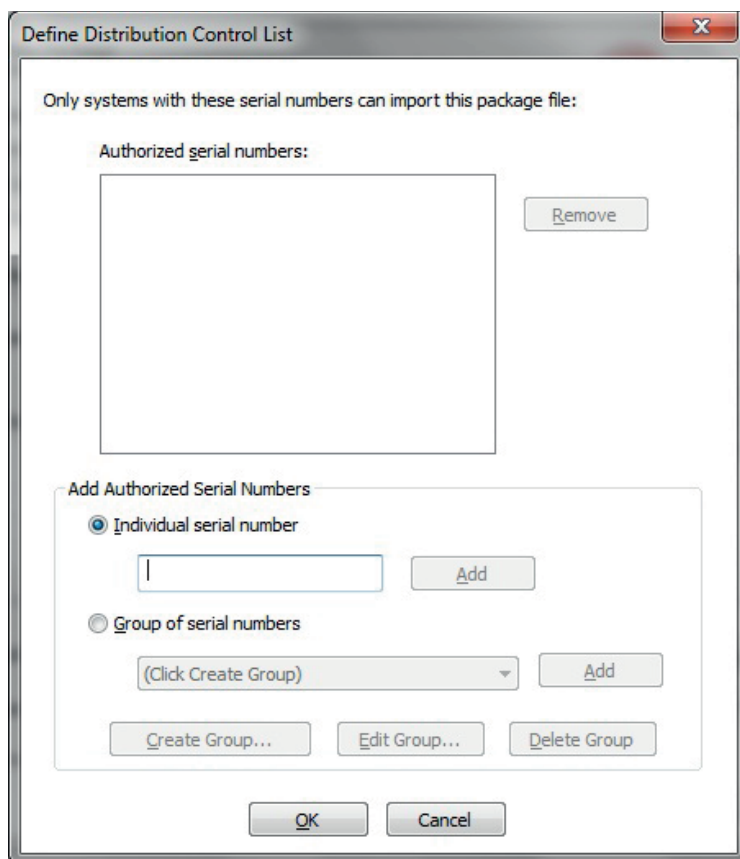
図 7. 配布制御リストの定義

この配布の方法により、ユーザーは個別のシリアル番号を入力するか、さまざまなロケーション プロファイルを必要とする、さまざまなユーザー組織を表す、さまざまなグループのシリアル番号を作成できます。このオプションは、プロファイル・ロケーション・ファイル (*.loa) がリモート・ユーザーに手動インポート用に送信される際、ファイルの配布を保護することを主な目的としています。配布制御リストによ

り、個人が適切なネットワーク接続プロファイルのみをインストールすることが保証されます。配布制御リストは、特定の指定したシステム・ユニットにのみプロファイルの利用を制限する目的に利用します。

グループの作成: シリアル番号のグループを作成する場合、シリアル番号のグループを含むフラット・テキスト・ファイルをインポートできます。
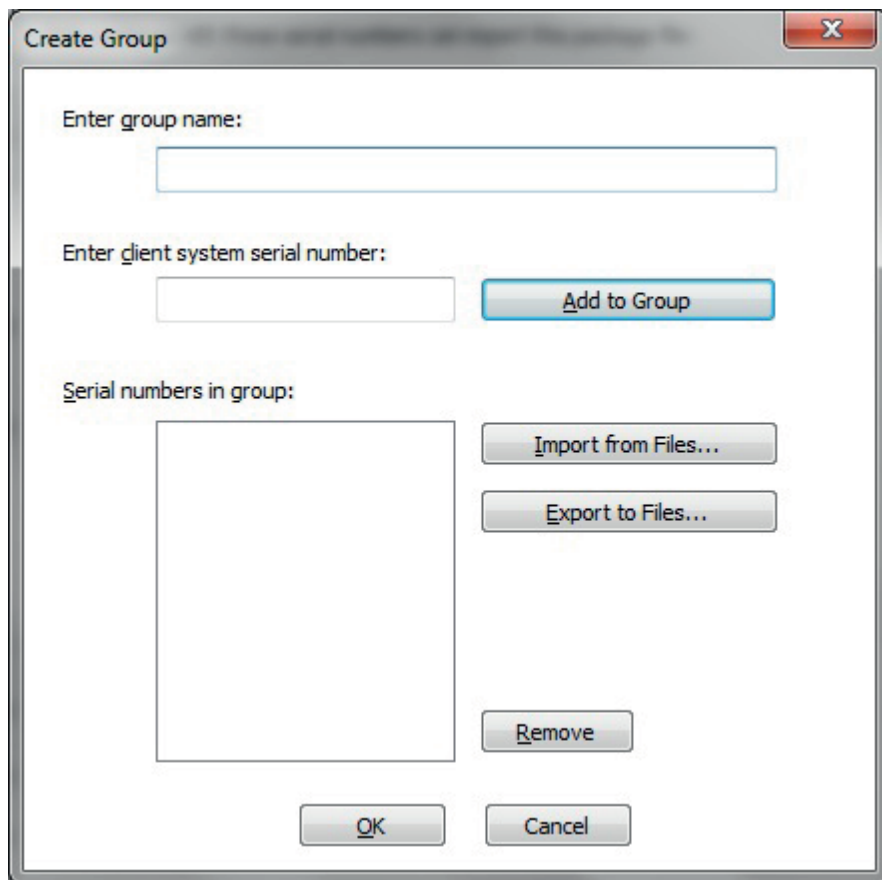
図 8. グループの作成

ファイルは、各行に単一のシリアル番号が含まれているようにフォーマット設定されている必要があります。これらのテキスト・ファイルは、管理者機能を使用して作成されたリストをエクスポートして、または資産管理システムにそのような機能があれば使用して作成できます。これにより、多数の PC への配布をシリアル番号に基づいて制御するプロセスが単純化されます。

クライアント構成ポリシー

この設定は、*.loa ファイルがインポートされた後に、ユーザーに対して使用可能になる機能を制御するクライアント構成ポリシーを定義します。『**クライアントが Access Connections 管理者になることを許可しない:**』の横のボックスにマークを付けると、ユーザーが Access Connections のインストール時に管理者機能を使用可能にすることを防ぎます。この設定は、規模の大きな企業環境で他者によるネットワーク・アクセス・プロファイルの作成および配布を防ぎたい場合に役立ちます。以下のタスクを実行するためのユーザー機能も制御できます。

- ロケーション プロファイルの作成、インポート、およびエクスポート。
- 共通設定を変更します。
- 管理者権限を持たない Windows ユーザーのための、ワイヤレス・ネットワーク検索機能を使用した WLAN ロケーション プロファイルの作成および適用。

- ロケーション プロファイルの自動切り替え。

以下の画面キャプチャーは、クライアント構成ポリシーの『クライアント』タブについて構成できる設定を示します。
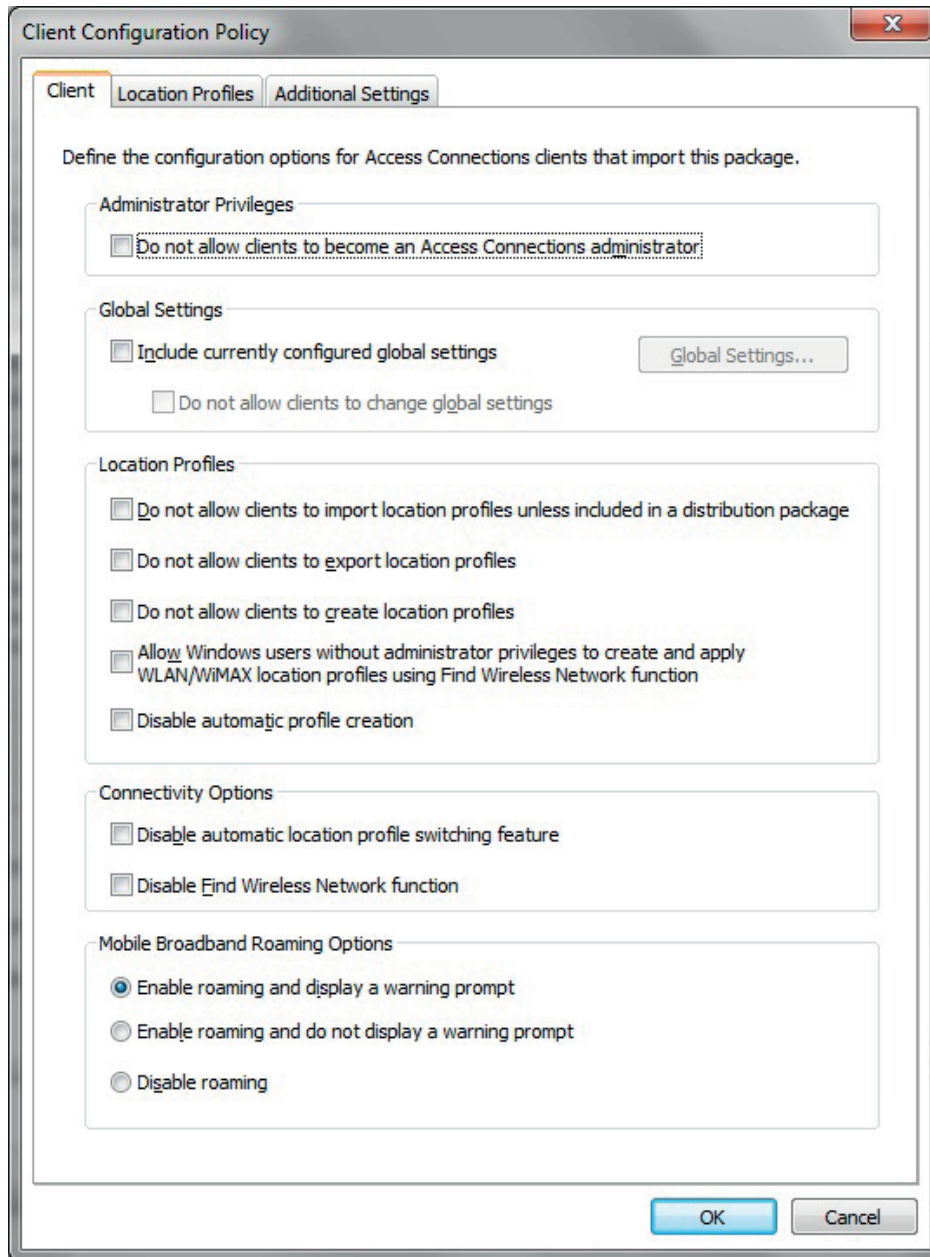
図 9. クライアント構成ポリシー

『**クライアントが Access Connections 管理者になることを許可しない:**』の横のボックスにマークを付けると、ユーザーが Access Connections のインストール時に管理者機能を使用可能にすることを防ぎます。この設定は、規模の大きな企業環境で他者によるネットワーク・アクセス・プロファイルの作成および配布を防ぎたい場合に役立ちます。以下のタスクを実行するためのユーザー機能も制御できます。

- ロケーション プロファイルの作成、インポート、およびエクスポート。
- 共通設定を変更します。

- 管理者権限を持たない Windows ユーザーのための、ワイヤレス・ネットワーク検索機能を使用した WLAN ロケーション プロファイルの作成および適用。
- ロケーション プロファイルの自動切り替え。
- モバイル・ブロードバンド・デバイスのローミングを制御します。

共通設定: 共通設定の『**ネットワーク**』タブで、以下のポリシーが設定できます。

- 管理者権限を持たない Windows ユーザーにロケーション プロファイルの作成および適用を許可する
- Windows ログオン時にワイヤレス接続を許可する (Windows XP のみ)
- ログオフ時に全てのワイヤレス ネットワーク接続を閉じる (Windows XP のみ)
- 無線 LAN プロファイルで Adhoc 接続タイプ・オプションを使用不可にする (Windows XP のみ)
- 無線の自動無線制御を使用可能にする (Windows XP のみ)
- Fn+F5 On Screen Display メニューによるプロファイル切り替えを使用可能にする (Windows XP のみ)
- 未使用のプロファイルの自動削除を有効にする
- ピアツーピア コミュニティ機能を使用不可にする
- SMS メッセージング機能を有効にする

以下のスクリーン・キャプチャーは、Access Connections が Windows XP オペレーティング・システムにインストールされているときの『共通設定』タブの例を示します。
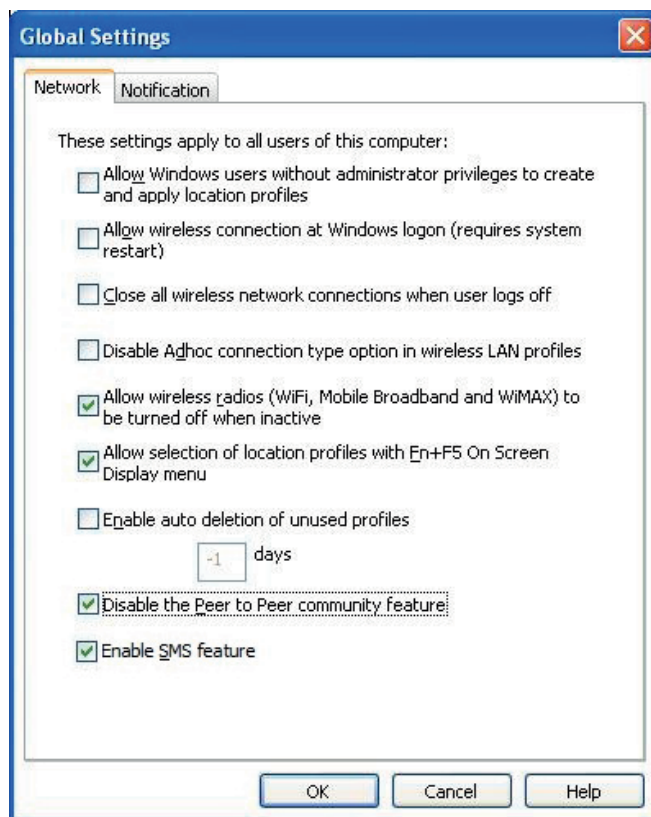
図 10. Windows XP の場合のネットワーク共通設定

以下のスクリーン・キャプチャーは、Access Connections が Windows Vista および Windows 7 オペレーティング・システムにインストールされているときの『共通設定』タブの例を示します。
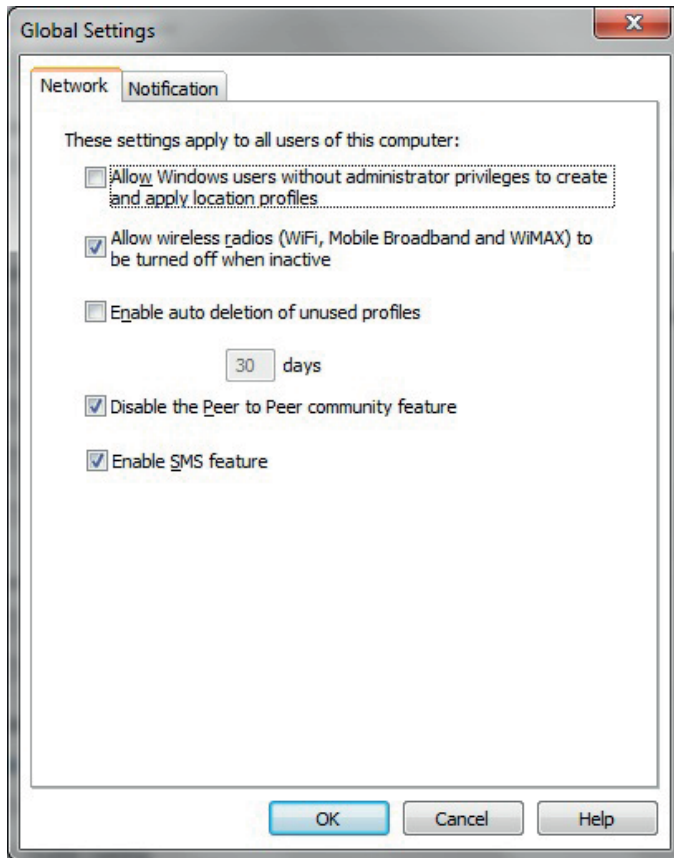
図 11. Windows Vista および Windows 7 の場合のネットワーク共通設定

共通設定の『**通知**』タブでは、以下のポリシーを設定できます。

- タスク トレイに ThinkVantage Access Connections ステータスアイコンを表示する
- タスク トレイにワイヤレス ステータス アイコンを表示する
- プロファイルを切り替える時、接続の進行状況ウィンドウを表示する
- タスクバーに Access Connections ゲージを表示する (Windows Vista/ Windows 7 のみ)
- SIM がロックされている場合、起動 / 再開するときに PIN ダイアログを表示する
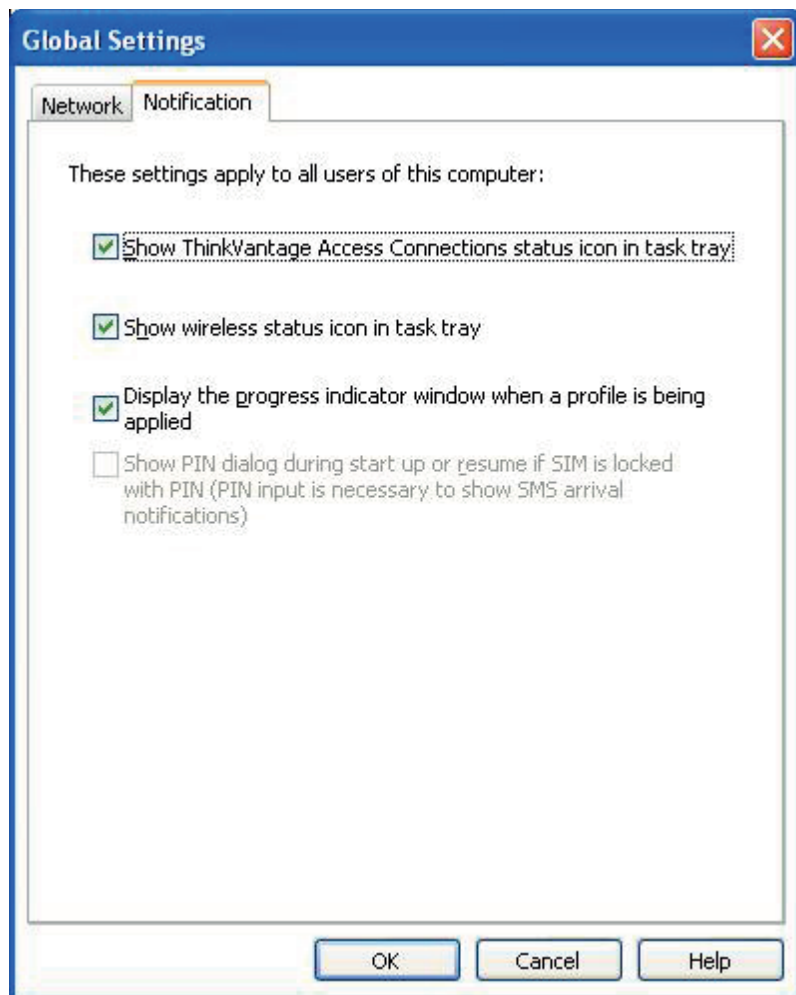
図 12. Windows XP の場合の通知に関する共通設定
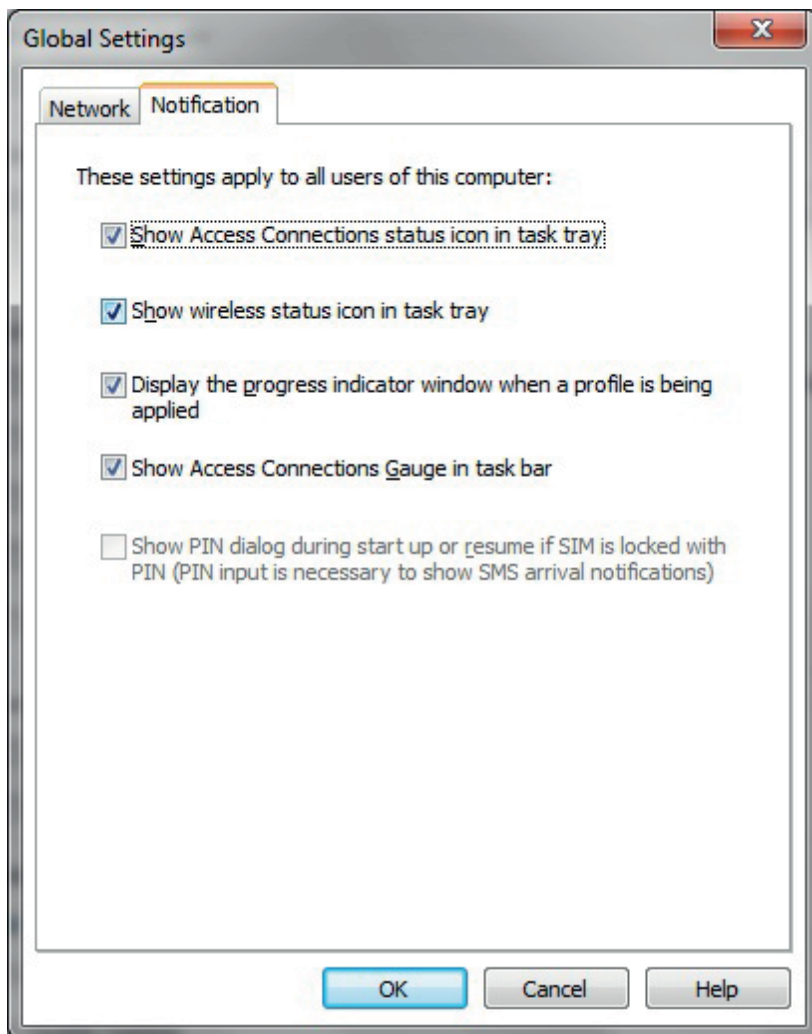
図 13. Windows Vista および Windows 7 の場合の通知に関する共通設定

ロケーション・プロファイル:

以下の Internet Explorer ポリシーを設定します。

- ブラウザーのホーム・ページの設定
- プロキシー設定

オプション設定では、以下のポリシーが設定できます。

- セキュリティー設定
- アプリケーションの自動開始
- デフォルト・プリンターの設定
- VPN 接続の使用
- TCP/IP および DNS のデフォルトの指定変更
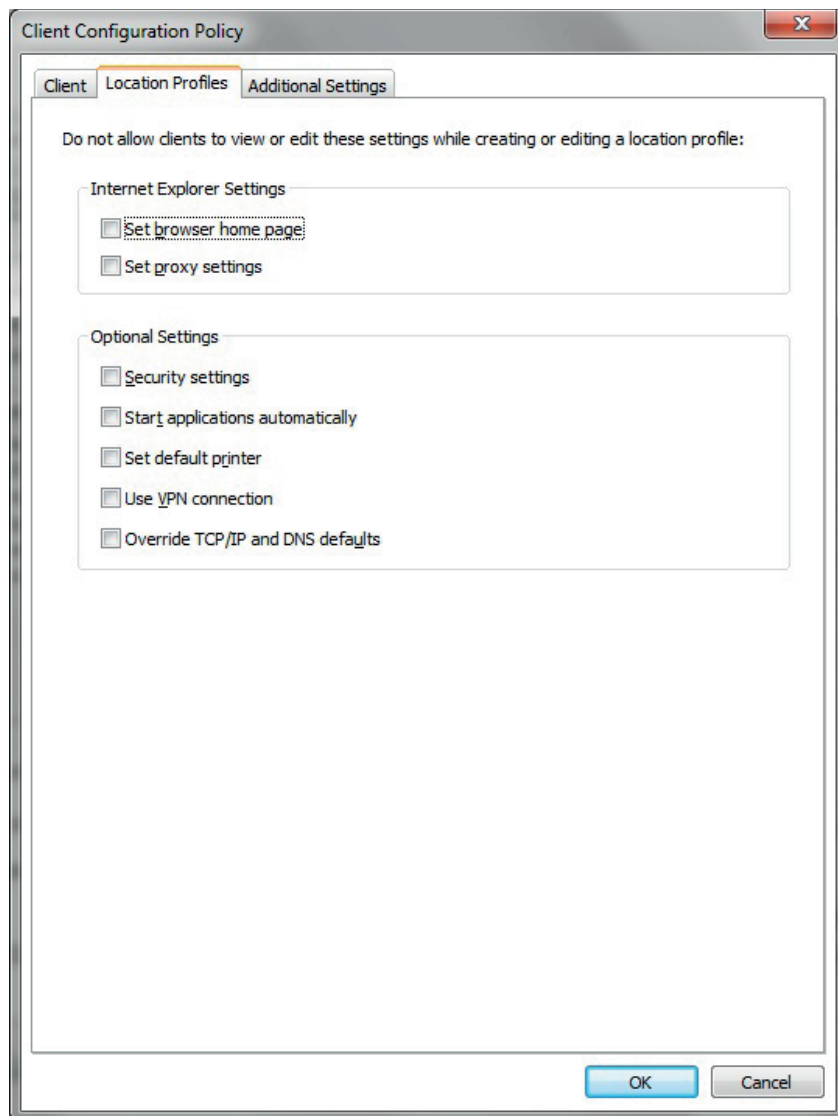
図 14. ロケーション・プロファイルの定義

追加設定: 『追加設定』タブでは、新規プロファイルを作成するときに適用する Access Connections の以下のポリシーを設定します。

一般的なオプション

- 暗号化されていないネットワークに接続するときに警告メッセージを表示しない
- イーサネット・ケーブルが抜かれたときにイーサネット・アダプターを無効にする
- プロファイルを切り替えるときに無線を切断する / 電源をオフにする
- アクティブ・ディレクトリーのデプロイされた無線設定を使用して自動的にロケーション・プロファイルを作成する(Windows Vista および Windows 7 のみ)

ローミングのオプション

- 新しいローミングエリア情報に新しい有線/無線プロファイルを自動的に含めない

注：このオプションを選択すると、すべての新しい有線/無線プロファイルは自動ロケーション切り替えに追加されません。

- クライアントによる自動ロケーション切り替え設定の変更を許可しない

  注：このオプションを選択すると、エンド・ユーザーの自動ロケーション切り替え設定がグレー表示になります。

- セキュリティー機能を持たない無線プロファイルをローミングエリア情報に自動的に含めない

  注：このオプションを選択すると、セキュリティー・タイプが『なし』(暗号化が無効) のプロファイルは自動ロケーション切り替えに追加されません。

『追加設定』のデフォルトのオプション

- ネットワーク・セキュリティー
  - インターネット接続共有を使用不可にする
  - Windows ファイアウォールを有効にする
  - ファイルおよびプリンターの共有を使用不可にする
- アプリケーションの自動開始
- デフォルト・プリンターの設定
- TCP/IP および DNS のデフォルトの指定変更
- VPN 接続を使用可能にする
- ホーム・ページの指定変更
- プロキシー構成の指定変更
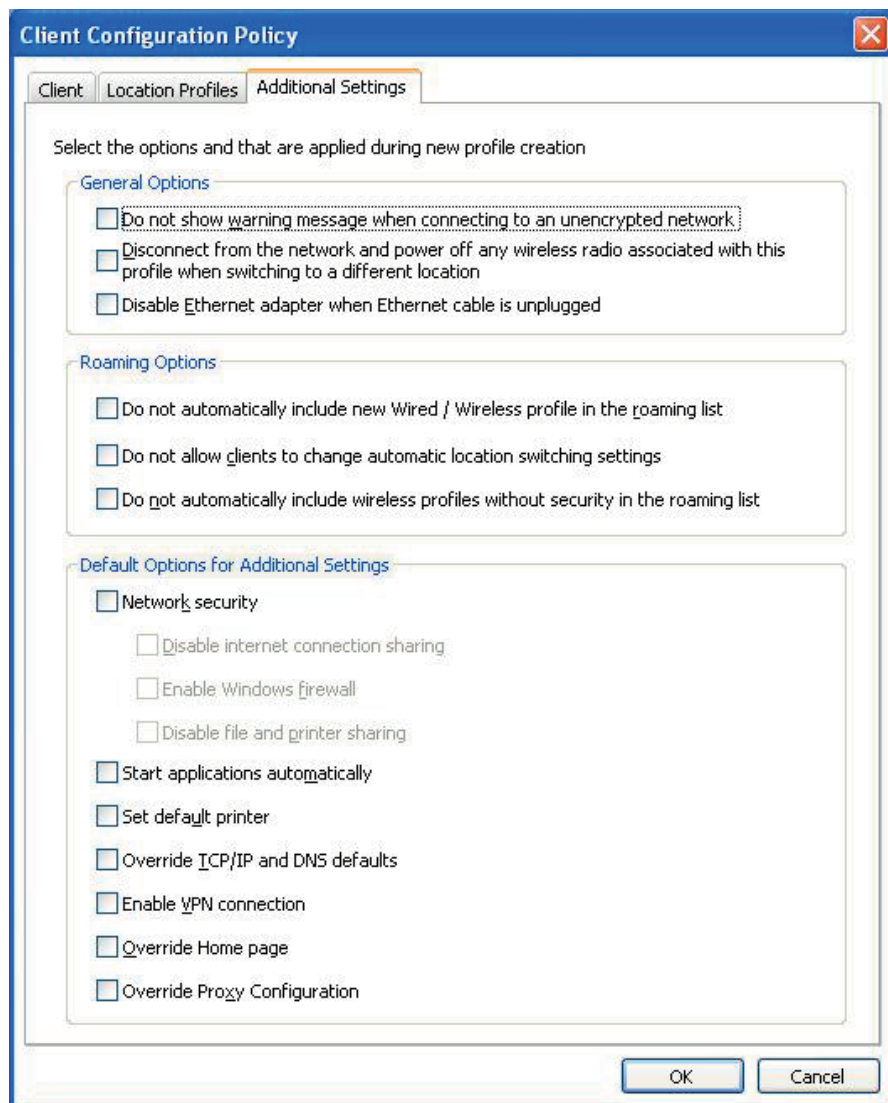
図 15. 追加設定 (Windows XP の場合)
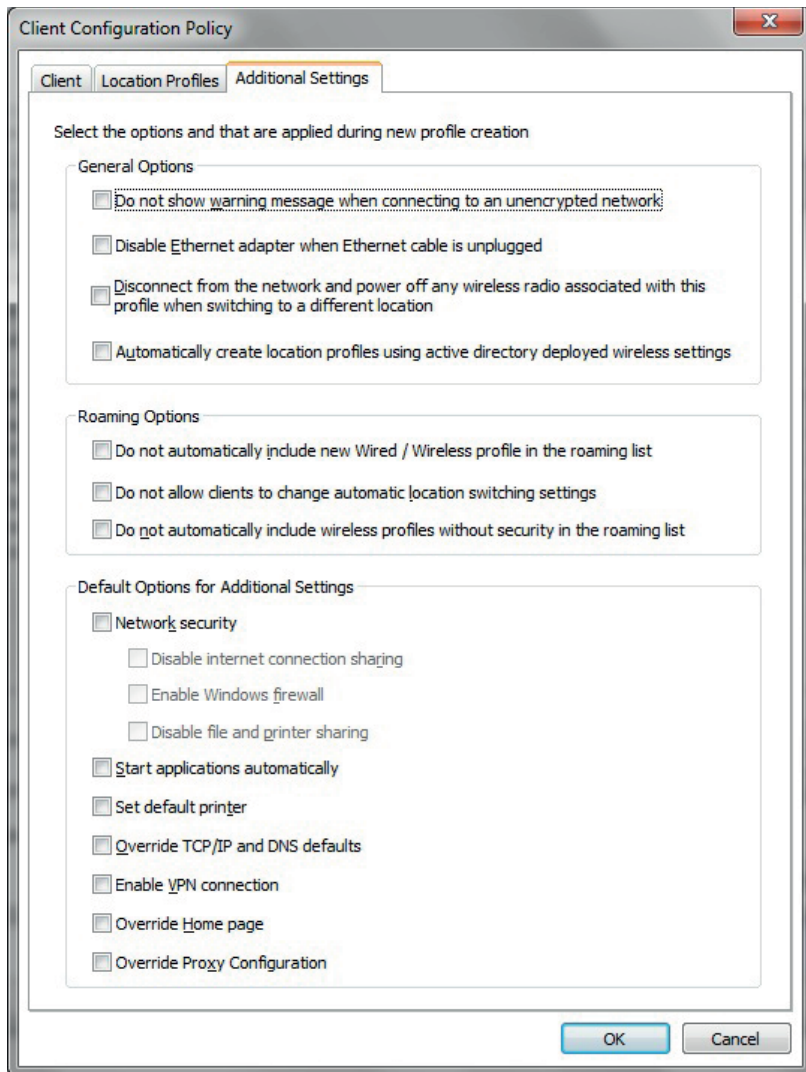
図 16. 追加設定 (Windows Vista および Windows 7 の場合)

PAC AID グループ (Windows XP のみ)

Protected Access Credentials (PAC) は、Extensible Authentication Protocol-Flexible Authentication via Secure Tunneling (EAP-FAST) で交換されるユーザー資格情報と PAC 鍵を保護します。すべての EAP-FAST オーセンティケーターは権限 ID (AID) によって識別されます。

ローカル・オーセンティケーターはその AID を認証クライアント宛てに送信し、クライアントは適用中のロケーション プロファイルで参照されている PAC AID グループを検査して、その認証 AID がそのグループに所属するかどうか調べます。所属することが確認された場合、クライアントは既存の PAC が使用可能であれば確認メッセージを出さずにその使用を試行します。所属が確認されない場合は、既存の PAC を使用することの確認メッセージをユーザーに表示します。ユーザー用にマッチングする PAC が存在しない場合、クライアント・システムは新しい PAC を要求します。

.loa パッケージは、PAC AID グループをターゲット・システムにインポートおよびエクスポートします。配布パッケージを作成するときに PAC AID グループを組み込むには、『**このパッケージの PAC AID グループを含める**』チェック・ボックスにマークを付けます。

図 17. 配布パッケージの作成

以下の手順を実行して、新規 PAC AID グループを作成します。

1. 『PAC AID グループの設定』ウィンドウで、『**グループ**』をクリックします。
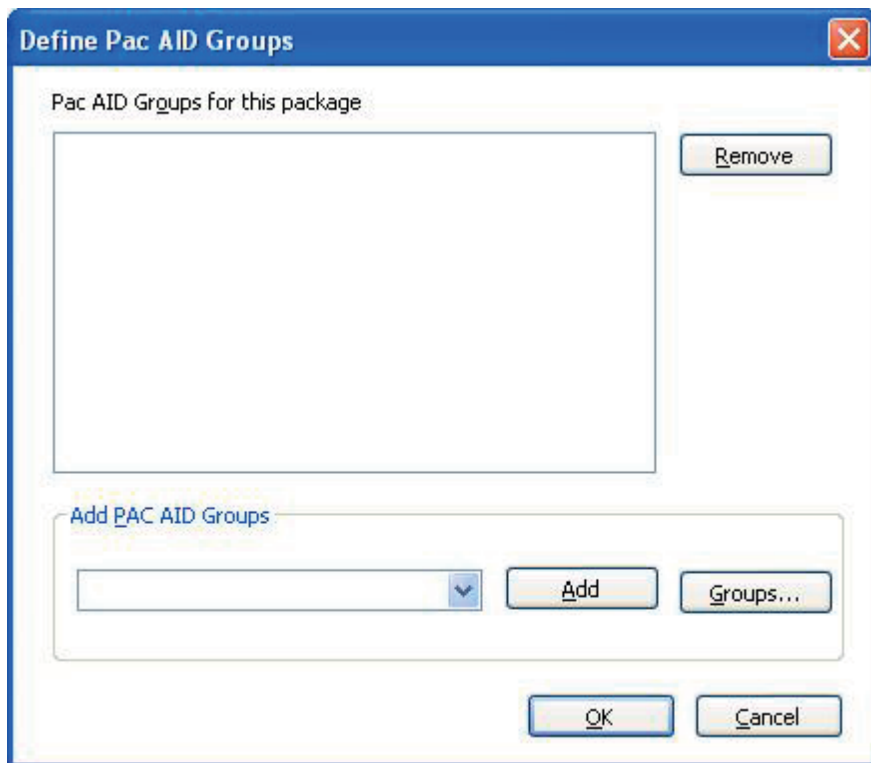
図 18. PAC AID グループの定義

2. 『**利用可能な PAC**』を右クリックします。

   注：グループに組み込もうとしている AID 付き PAC は、その AID グループを作成しているマシンに存在している必要があります。

3. ドロップダウン・メニューから、『**グループの作成**』をクリックします。

PAC AID グループは配布パッケージに追加または削除できます。グループを追加するには、ドロップダウン・メニューからグループを選択して『**追加**』をクリックします。グループを削除するには、使用可能な PAC AID のリストから該当のグループを選択して『**削除**』をクリックします。
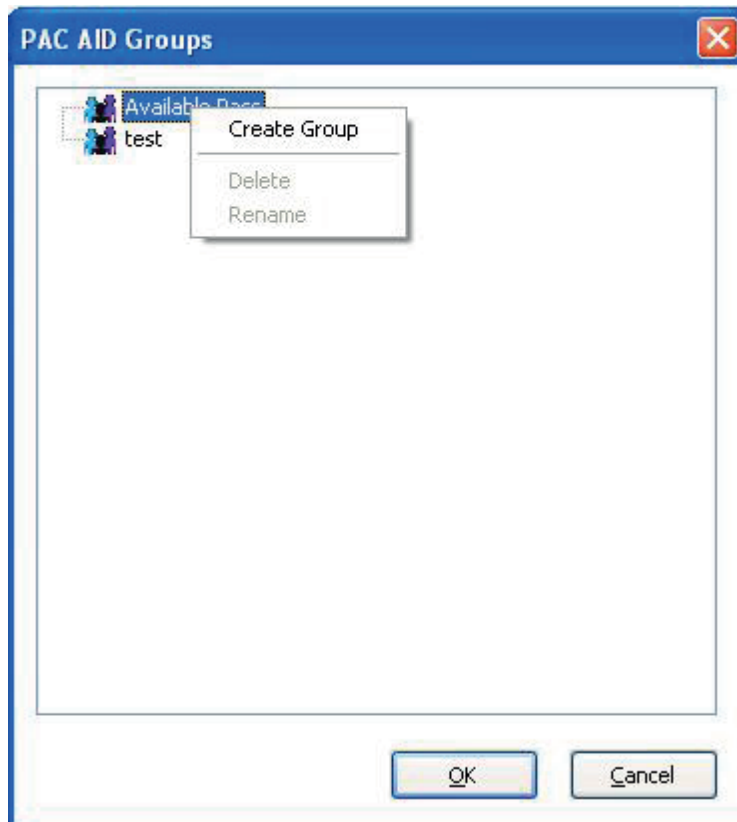
図 19. PAC AID グループの設定

クライアントのインストール後でもこのパッケージのサイレント・インポートを許可する

デフォルトでは、一度インストールされた Access Connections で、*.loa ファイルにあるプロファイルはインポートできません。23 ページの 図 17『配布パッケージの作成』 のチェック・ボックスで作成された配布パッケージ (*.loa ファイルと *.sig ファイルからなる) は Access Connections のインストール・フォルダーにコピーでき、次回の再起動時に検出およびインポートが自動的に行われます。

アクティブなロケーション・プロファイルの選択

このオプションを選択すると、Access Connections を初めて実行するときにアクティブになる配布済みのプロファイルが指定されます (この機能は Windows XP コンピューターでのみ使用できます)。

第 4 章 Access Connections のプロファイル配布

クライアント・ユーザーに必要なロケーション・プロファイルを作成した後、ロケーション・プロファイルを新規作成、更新、または改訂して管理し、クライアント PC に配布することもできます。以下の例は、Access Connections を配布する方法を説明しています。

- 新規クライアント PC 上の Access Connections およびロケーション・プロファイルを配布します。
- Access Connections を稼働させ、既存のクライアント PC 上のロケーション・プロファイルおよびクライアント・ポリシーを配布します。
- 既存のクライアント PC 上で、既存の Access Connections をアップグレードして、ロケーション・プロファイルを移行します。

新規 PC 上への配布

Access Connections がインストールされていない新規のコンピューター上で、Access Connections ロケーション プロファイルを配布するには、次の手順を実行します。

1. Access Connections 配布パッケージ (*.loa と *.sig) を、7 ページの第 3 章『管理者機能を処理する』に記載されているように、望ましいユーザー・アクセス・ポリシーおよびクライアント構成ポリシーを含んだロケーション・プロファイルで作成します。サイレント・インポートの場合は、.loa ファイルを作成する間、『**クライアントのインストール後でも、このパッケージのサイレント・インポートを許可する**』設定を有効にします。
2. Access Connections、ワイヤレス LAN ドライバー/アプリケーション、ホット・キー Fn+F5 ユーティリティー、および省電力ドライバーで、統合パッケージを作成します。
3. 統合パッケージの Access Connections フォルダーに、配布パッケージ (.loa ファイルと .sig ファイル) を含めます。統合パッケージに配布パッケージを含めないようにすることもでき、代わりに、統合パッケージまたは Access Connections のインストール後、これらを Access Connections のインストール・ディレクトリーにコピーします。
4. システムの再起動後、Access Connections は自動的に稼働し、配布パッケージの検出およびサイレント・インポートを行います。サイレント・インポート・オプションが選択されていない場合、ユーザーはプロファイルの管理ウィンドウでインポートを選択し、プロンプトが表示されたときに、管理者によってパッケージを作成するのに使用されたのと同じパスフレーズ (パスワード) を提供することによって、パッケージを手動でインポートすることを選択できます。

既存クライアント PC への配布

Access Connections がすでにインストール済みで稼働している既存の PC 上で Access Connections ロケーション・プロファイルを配布するには、以下のステップを実行します。

1. Access Connections 配布パッケージ (*.loa と *.sig) を、前述の 7 ページの第 3 章 “管理者機能を処理する” に記載されているように、望ましいユーザー・アクセス・ポリシーおよびクライアント構成ポリシーを含んだロケーション・プロファイルで作成します。クライアント構成ポリシーのみを変更する必要がある場合は、プロファイルをエクスポートせずに、変更したクライアント構成ポリシーのみを組み込んだ、配布パッケージを作成できます。サイレント・インポートの場合、.loa ファイルを作成する間、『**クライアントのインストール後でも、このパッケージのサイレント・インポートを許可する**』設定を有効にします。
2. 既存のクライアント・コンピューターの Access Connections インストール・ディレクトリーに配布パッケージ (*.loa と *.sig) をコピーします。
3. システムの再起動後、Access Connections は自動的に稼働し、配布パッケージの検出およびパッケージのインポートを行ないます。以下のコマンドで、インポートを強制できます。

```
<path> ¥qctray.exe /importsilently
<path> ¥qctray.exe /killac
<path> ¥qctray.exe /startac
```

ロックされたプロファイルの削除

ロックされた Access Connections のプロファイルを削除するには、2 とおりの方法があります。

1. Access Connections をアンインストールし、既存のプロファイルを保存するかどうかを尋ねられたら、『いいえ』をクリックします。
2. ロックされたプロファイルをリモートで削除するには、以下のステップを実行します。
   - オリジナルの配布パッケージと同じプロファイル、名前、パスフレーズを持ち、プロファイルがアンロックされて『すべての変更を許可/削除を許可』に設定された別の配布パッケージを作成します。
   - この新規に作成した .loa プロファイルを、クライアント・システムに配布します。
   - 次のコマンドを使用して、プロファイルを削除します。

```
<path>¥qctray.exe/del <location profile name>
```

配布したプロファイルの更新

現在配布済みのプロファイルを、新規暗号化およびセキュリティー設定へと更新するには、目的の設定が指定され、オリジナルの配布パッケージと同じ名前で同じパスフレーズを持つ、別の配布パッケージを作成する必要があります。この新規に作成したパッケージを、クライアント・システムに配布します。

既存の PC 上の Access Connections のアップグレード

既存のクライアント PC 上で、Access Connections を新規バージョンにアップグレードし、既存のロケーション・プロファイルに移行するには、以下のステップのいずれかを実行します。

1. Access Connections の新規バージョン、ワイヤレス LAN ドライバー/アプリケーションの推奨バージョン、ホット・キー Fn+F5 ユーティリティー、および省電力ドライバーを使用して、統合パッケージを作成します。このパッケージをクライアント・システムに配布して、システムを再起動します。
2. 特定のオペレーティング・システムの最新バージョンの Access Connections をダウンロードし、README ファイルの指示に従ってインストールします。同様に、README ファイルの注釈と、インストールするワイヤレス LAN ドライバー/アプリケーション、ホット・キー Fn+F5 ユーティリティー、および省電力ドライバーに該当すると考えられる新しい要件も参照してください。
3. インターネット接続を利用する ThinkVantage System Update を実行して、Access Connections、ワイヤレス LAN ドライバー/アプリケーション、ホット・キー Fn+F5 ユーティリティー、および省電力ドライバーの更新パッケージをダウンロードして、インストールします。

第 5 章 Active Directory と ADM ファイルの使用

Active Directory は、コンピューター、グループ、エンド・ユーザー、ドメイン、セキュリティー・ポリシー、およびユーザー定義オブジェクトの不特定型を管理する能力を管理者に提供する仕組みです。これを実現するために Active Directory が使用するこの仕組みは、グループ・ポリシーおよび管理用テンプレート・ファイル (ADM) として知られています。グループ・ポリシーおよび ADM ファイルを使用して、管理者はドメイン内のコンピューターまたはユーザーに適用可能な設定を定義します。

Active Directory またはグループ・ポリシーについて詳しくは、次の Microsoft Web サイトを参照してください。
http://www.microsoft.com

管理用テンプレートの追加

Lenovo には、時間と労力を節約するように設計された管理用テンプレート・ファイル 'tvtacad.adm' が用意されています。このファイルをグループ・ポリシーとともに使用して、Access Connections の構成ポリシーを設定できます。tvtacad.adm ファイルは、Lenovo Web サイトからダウンロードできます。

Access Connections 管理用テンプレート (ADM ファイル) をグループ・ポリシー・エディターに追加するには、以下の手順を実行します。

必要条件: Active Directory ドメイン・サーバーが稼働中の Server 2003 または 2008

1. Active Directory サーバー/クライアント環境を準備します。
2. クライアント・マシンに最新の Access Connections をインストールします。
3. Active Directory サーバー:
   a. Active Directory サーバーが稼働中のマシンで『グループ・ポリシー管理』コンソールを開きます。
   b. 『デフォルトのドメイン・ポリシー』ノードを右クリックして、『編集...』オプションを選択します。『グループ ポリシー オブジェクト エディタ』が表示されます。
   c. 『コンピュータの構成』(Server 2008 の場合は『ポリシー』) で、『管理用テンプレート』を右クリックし、『テンプレートの追加と削除』を選択します。
   d. 『追加』ボタンを押してから、tvtacad.adm ファイルを選択します。
   e. ダイアログ・ボックスの『閉じる』ボタンを押します。
   f. 『コンピュータの構成』で、『管理用テンプレート』キー (Server 2008 の場合は『従来の管理用テンプレート』) を展開します。『Lenovo ThinkVantage コンポーネント (Lenovo ThinkVantage Components)』という新しいタブが表示されます。
   g. 『Lenovo ThinkVantage コンポーネント』キーの下に『Access Connections』タブがあります。このタブで、使用可能なすべての設定を構成できます。
4. 目的の設定を構成して、グループ・ポリシー・エディターを終了します。
5. クライアント・マシンで、コマンド・プロンプトを開き、『gpupdate.exe /force』 コマンドを入力します。Active Directory サーバーの変更を含んでいるグループ・ポリシーでクライアント・マシンが更新されます。
6. クライアント PC のポリシーの変更を確認するには、クライアント・マシンで以下のレジストリーを確認します。

   ```
   HKLM¥Software¥Policies¥Lenovo¥AccessConnections
   ```

次に例を示します。

1. 『ピアツーピア・コミュニティ機能を使用不可にする (削除する) 機能』 が Active Directory サーバーで有効になるように構成します。

2. クライアント・マシンで、コマンド・プロンプトを開き、『gpupdate.exe /force』 と入力します。
3. 『HKLM¥Software¥Policies¥Lenovo¥AccessConnections』 レジストリー・キーの下でレジストリー値 DisablePeertoPeerCommunity が 1 に設定されます。
4. クライアント・マシンに Access Connections をインストールしても、メイン・インターフェースに『ピアツーピア』タブは表示されません。

注 : 実時間シナリオによると、クライアント・システムでは、特定の時間間隔で自動的にグループ・ポリシーが更新されます。

デフォルトでは、この時間間隔は 90 分で、ランダム・オフセットは 0 ～ 30 分です。

クライアント・マシンでポリシーが更新されると、Access Connections もグループ・ポリシーの最新の変更 (変更があった場合) で更新されます。

Access Connections のクライアント構成プラグインのインストール

ユーザーの時間と労力の節約のために、Access Connections 用のクライアント構成ポリシーを設定する補足プラグイン・ファイルを Lenovo は提供しています。以下の補足ファイルは、acplgin45.exe に圧縮されています。

- **tvtacad.adm** - この管理用テンプレートは、Access Connections の構成ポリシーを設定するためにグループ・ポリシーで使用されます。

上記ファイルは、Access Connections 4.2 以上をサポートします。

グループ・ポリシー設定

次の表は、ADM ファイル・テンプレートを使用して変更可能な Access Connections のポリシー設定を示します。

ポリシー設定	説明せつめい
クライアントが Access Connections 管理者になることを許可しません。	有効にすると、クライアント側で Access Connections 管理者機能を有効にできなくなります。このため、プロファイル配布機能を使用して、ロケーション・プロファイルまたはロケーション・ポリシーをエクスポートできなくなります。
クライアントによる共通設定の変更を許可しません。	有効にすると、ユーザーは共通設定を変更できなくなります。
配布パッケージに組み込まれている場合を除き、クライアントがロケーション プロファイルをインポートすることを許可しません。	有効にすると、ユーザーはロケーション・プロファイル (.loc ファイル) をインポートできなくなりますが、配布パッケージ (.loa ファイル) に含まれたロケーション・プロファイルはインポートできます。
クライアントがロケーション プロファイルをエクスポートすることを許可しません。	有効にすると、ロケーション・プロファイル機能をエクスポートできなくなります。
クライアントがロケーション プロファイルを作成することを許可しません。	有効にすると、ユーザーはロケーション・プロファイルを作成できなくなります。また、無線ネットワークの検索機能を使用して作成した接続のプロファイルも保存できなくなります。
Windows ユーザーに、無線ネットワークの検索機能を使用して、管理者権限なしで WLAN/WiMAX ロケーション・プロファイルを作成することを許可します。	有効にすると、ユーザー (特権が資源されているユーザーも含む) は、無線ネットワークの検索機能を使用して作成した接続のプロファイルを保存できます。

ポリシー設定	説明せつめい
プロファイルの自動作成を無効にします。	有効にすると、プロファイルは自動的に作成されません。
ロケーション プロファイルの自動切り替え機能を無効にします。	有効にすると、ロケーション・プロファイルの自動切り替えが無効になります。
ワイヤレス・ネットワーク検出機能を無効にします。	有効にすると、無線ネットワークの検索機能が使用できなくなります。
更新を確認する機能を無効にします。	有効にすると、更新を確認する機能が使用できなくなります。
クライアントが、ロケーション プロファイル内のブラウザーのホーム・ページの設定を表示または編集することを許可しません。	有効にすると、ユーザーは、ロケーション・プロファイル内のブラウザーのホーム・ページの設定を表示または編集できなくなります。
クライアントが、ロケーション プロファイル内のブラウザーのプロキシー設定を表示または編集することを許可しません。	有効にすると、ユーザーは、ロケーション・プロファイル内のブラウザーのプロキシー設定を表示または編集できなくなります。
クライアントが、ロケーション プロファイル内のセキュリティー設定を表示または編集することを許可しません。	有効にすると、ユーザーは、ロケーション・プロファイル内のブラウザーのセキュリティー設定を表示または編集できなくなります。
クライアントが、ロケーション プロファイル内のアプリケーションの自動開始設定を表示または編集することを許可しません。	有効にすると、ユーザーは、ロケーション・プロファイル内のアプリケーションの自動開始設定を表示または編集できなくなります。
クライアントが、ロケーション プロファイル内の通常使うプリンターの設定を表示または編集することを許可しません。	有効にすると、ユーザーは、ロケーション・プロファイル内の通常使うプリンターの設定を表示または編集できなくなります。
クライアントが、ロケーション プロファイル内の VPN 接続設定を表示または編集することを許可しません。	有効にすると、ユーザーは、ロケーション・プロファイル内の VPN 接続設定を表示または編集できなくなります。
クライアントによる、ロケーション・プロファイル内の TCP/IP および DNS の指定変更のデフォルト設定の表示または編集を許可しません。	有効にすると、ユーザーは、ロケーション・プロファイル内の TCP/IP および DNS の指定変更のデフォルト設定を表示または編集できなくなります。
暗号化されていないネットワークに接続するときに警告メッセージを表示しません。	有効にすると、暗号化されていないネットワークに接続するときに警告メッセージが表示されません。
新規プロファイルを作成するときに『サービス』メニューを表示しません。	有効にすると、新規プロファイルを作成するときに『サービス』メニューが表示されません。
ローミングエリア情報に新しい有線/無線プロファイルを自動的に含めません。	有効にすると、新規に作成された有線/無線プロファイルをローミングエリア情報に自動的に含めません。
クライアントによる、新規プロファイルの作成時の自動ロケーション切り替え設定の変更を許可しません。	有効にすると、クライアントは自動ロケーション切り替えを変更できなくなります。
新規プロファイルを作成するときに、セキュリティー機能を持たない無線プロファイルをローミングエリア情報に自動的に含めません。	有効にすると、新しく作成された、セキュリティー機能を持たない無線プロファイルはローミングエリア情報に自動的に含まれません。
新規プロファイルを作成するときのネットワーク・セキュリティー	有効にすると、新規プロファイルを作成するときに、『追加設定』プロパティ・ページの『ネットワーク・セキュリティー』ボタンがデフォルトで有効になります
新規プロファイルを作成するとき、インターネット接続の共有を無効にします	有効にすると、新規プロファイルを作成するときに、『ネットワーク・セキュリティー』設定ダイアログの『インターネット接続を無効にする』ボタンがデフォルトで有効になります

ポリシー設定	説明せつめい
新規プロファイルを作成するとき、Windows ファイアウォールを有効にします	有効にすると、新規プロファイルを作成するとき、『ネットワーク・セキュリティー』設定ダイアログの『Windows ファイアウォールを有効にする』ボタンがデフォルトで有効になります
新規プロファイルを作成するとき、ファイルおよびプリンターの共有を使用不可にします	有効にすると、新規プロファイルを作成するとき、『ネットワーク・セキュリティー』設定ダイアログの『ファイルおよびプリンターの共有を使用不可にする』ボタンがデフォルトで有効になります
新規プロファイルを作成するとき、アプリケーションを自動的に開始します	有効にすると、新規プロファイルを作成するとき、『追加設定』プロパティ・シートの『ページ』ボタンがデフォルトで有効になります
新規プロファイルを作成するとき、通常使うプリンターを設定します	有効にすると、新規プロファイルを作成するとき、『追加設定』プロパティ・ページの『通常使うプリンターの設定』ボタンがデフォルトで有効になります
新規プロファイルを作成するとき、TCP/IP および DNS のデフォルトの指定を変更します	有効にすると、新規プロファイルを作成するとき、『追加設定』プロパティ・ページの『TCP/IP および DNS のデフォルトの指定変更』ボタンがデフォルトで有効になります
新規プロファイルを作成するとき、VPN 接続を使用可能にします	有効にすると、新規プロファイルを作成するとき、『追加設定』プロパティ・ページの『VPN 接続を使用可能にする』ボタンがデフォルトで有効になります
新規プロファイルを作成するとき、ホーム・ページの指定を変更します	有効にすると、新規プロファイルを作成するとき、『追加設定』プロパティ・ページの『ホーム・ページの指定変更』ボタンがデフォルトで有効になります
新規プロファイルを作成するとき、プロキシー構成の指定を変更します	有効にすると、新規プロファイルを作成するとき、『追加設定』プロパティ・ページの『プロキシー構成の指定変更』ボタンがデフォルトで有効になります

次の表は、ADM ファイル・テンプレートを使用して変更可能な Access Connections の共通設定を示します。

共通設定	説明せつめい
管理者権限を持たない Windows ユーザーにロケーション プロファイルの作成および適用を許可する	有効にすると、特権が制限されたユーザーも、ロケーション・プロファイルを作成し (イーサネット接続またはワイヤレス接続を使用)、既存のロケーション・プロファイルを切り替えることができます。
Windows ログオン・ユーザー名とパスワードを使ってワイヤレス・ネットワークの認証を行う (システムの再起動が必要)	有効にすると、Windows ログオン時に、ワイヤレス接続を使用する一部のロケーション・プロファイルを確立できます。ワイヤレス接続では、Windows ログオン資格情報をワイヤレス認証に使用できます。このオプションを有効にした後は、クライアント・システムの再起動が必要です。
ログオフ時に全てのワイヤレス・ネットワーク接続を閉じる	有効にすると、ユーザーがログオフするときにワイヤレス接続が切断されます。セキュリティーを強化するために、資格情報はキャッシュされません。
無線 LAN プロファイルで Adhoc 接続タイプ・オプションを使用不可にする。	有効にすると、Adhoc 接続タイプは、無線 LAN プロファイルの作成中は使用できません。
無線 LAN の自動無線制御を使用可能にする。	有効にすると、無線がアクセス・ポイントに関連付けされていないときは常に、電力の節約とセキュリティーの向上のために無線は自動的にオフになります。

共通設定	説明せつめい
Fn+F5 On Screen Display メニューによるプロファイル切り替えを使用可能にする。	有効にすると、Fn+F5 On Screen Display パネルに Access Connections ロケーション・プロファイルが表示され、選択して接続できるようになります。
ピアツーピア・コミュニティ機能を使用不可にする (削除する)。	有効にすると、クライアントでピアツーピア・コミュニティ機能が使用できなくなります。
タスク・トレイに Access Connections のステータス・アイコンを表示する。	有効にすると、Access Connections のステータス・アイコンが、システムのタスク・トレイの通知領域に追加されます。ユーザーは、左クリック・メニューを使用してロケーション・プロファイルを選択できます。
タスク・トレイにワイヤレス・ステータス・アイコンを表示する。	有効にすると、ワイヤレス・ステータス・アイコンが、システムのタスク・トレイの通知領域に追加されます。起動すると、WLAN および WWAN 接続の信号強度と詳細な状況が表示されます。
プロファイルを切り替えるとき、接続の進行状況ウィンドウを表示する。	有効にすると、ロケーション・プロファイルが適用されるたびに、接続中の詳細な状況を示す進行状況表示ウィンドウが表示されます。
イーサネット・ケーブルが抜かれたときにイーサネット・アダプターを無効にする	有効にすると、イーサネット・ケーブルが抜かれたときにイーサネット・アダプターが無効になります。

ログオン・スクリプトを使用した Active Directory による .LOA および .SIG ファイルの配布

.loa ファイルと .sig ファイルは、`C:¥Program Files¥ThinkPad¥ConnectUtilities` [Windows XP] または `C:¥Program Files¥lenovo¥Access Connections` [Windows Vista または 7] に保存されます。ログオン・スクリプトを使用した Active Directory を通じて .loa ファイルと .sig ファイルを配布するときは、Access Connections の『配布パッケージの作成』ウィンドウで『**クライアントのインストール後でも、このパッケージのサイレント・インポートを許可する**』チェック・ボックスにマークを付けます。

.loa および .sig ファイルの追加情報については、7 ページの 第 3 章『管理者機能を処理する』を参照してください。

ログオン・スクリプトのグループ・ポリシーへの追加

以下の手順で、グループ・ポリシー内のユーザーあるいはコンピューターのログオン・スクリプトをセットアップする方法を説明します。

1. グループ・ポリシー管理エディターを起動します。
2. ドメイン・ネームを右クリックしてから、『**GPO の作成およびリンク**』をクリックします。
3. 使用するグループ・ポリシー・オブジェクト (GPO) の名前を入力します。
4. GPO 名を右クリックしてから、『**編集**』をクリックします。
5. 『グループ・ポリシー・オブジェクト・エディター』ウィンドウから、次のようにナビゲートします。`User Configuration->Windows Settings->Scripts (Logon/Logoff)->Logon`
6. 『ログオン・プロパティ』パネルから、Acloa.bat ファイルを選択してから『**追加**』をクリックします。
7. 『スクリプトの追加』ダイアログ・ボックスで、『**参照**』をクリックしてから、使用するスクリプトを選択します。
8. 『**OK**』をクリックします。
9. Acloa.bat ファイルを『ログオン・スクリプト』の場所にコピーします。
10. 『**開く**』をクリックすると、ログオン bat ファイルが追加されます。

11. 『セキュリティー・フィルター』セクションの下の『ADS テスト』パネルで、『**追加**』をクリックして、ユーザー、グループ、またはコンピューターに権限を付与します。

Acloa.bat ファイルの作成

以下の例を使用して Acloa.bat ファイルを作成できます。

```
:Begin
If exist "c:¥program files¥thinkpad¥connectutilities4¥
Silent.txt" goto SilentImportDoneBefore
copy ¥¥conwiz.com¥NETLOGON¥user01¥*.* "c:¥program files¥
thinkpad¥connectutilities4"
cd c:¥program files¥thinkpad¥connectutilities4
qctray /importsilently
Echo Silent Import was performed > "c:¥program files¥
thinkpad¥connectutilities4¥Silent.txt"
Echo Silent Import was performed
goto SilentImportDone
:SilentImportDoneBefore
Echo Silent Import was done before
:SilentImportDone
```

Acloa. bat

ユーザーがドメインにログオンするときに、Acloa.bat が実行され、以下が行われます。

- 次のクライアントの場所で silent.txt ファイルの検査をします。
  `c:¥programfiles¥thinkpad¥connectutilities`
- silent.txt ファイルが存在する場合は、.loa および .sig ファイルをコピーしないで終了します。
- silent.txt ファイルが存在しない場合は、.loa および .sig ファイルをサーバーからクライアントにコピーします。
  `c:¥programfiles¥thinkpad¥connectutilities`
- プロファイルを Access Connections にサイレント・インポートするには、次のコマンドを実行します。

  ```
  qctray /silentimport
  ```
- その結果、silent.txt と呼ばれるファイルを `c:¥programfiles¥thinkpad¥connectutilities` に作成し、命令を終了します。

付録 A　コマンドライン・インターフェース

Access Connections では、ロケーション・プロファイルを切り替えたり、ロケーション・プロファイルのインポートまたはエクスポートを行うためにコマンド行入力を行なえます。コマンド・プロンプト・ウィンドウで以下のコマンドを入力することも、他のユーザーが使用できるようにバッチ・ファイルを作成することもできます。これらのコマンドを実行する前に、Access Connections が実行されている必要はありません。

- ロケーション・プロファイルを適用します。
  `<path>¥qctray.exe/set <location profile name>`
- ロケーション・プロファイルを切断します。
  `<path>¥qctray.exe/reset <location profile name>`
- ロケーション・プロファイルを削除します。
  `<path>¥qctray.exe/del <location profile name>`
- ロケーション・プロファイルをインポートします (.LOC 拡張子のファイルのみ有効)。
  `<path>¥qctray.exe/imp <location profile path>`
- 全プロファイルのサイレント・インポートを実行します。
  `<path>¥qctray.exe/importsilently`
- ロケーション・プロファイルをエクスポートします (.LOC 拡張子のファイルのみ有効)。
  `<path>¥qctray.exe/exp <location profile path>`
- (どのプロファイルが直前にアクティブになっていたかは無関係に) ワイヤレス・カード用のテスト SSID プロファイルを適用して、すぐに戻ります。ワイヤレス LAN アダプターの無線は ON のままになります。
  `<path>¥qctray.exe/disconnectwl`
- AcMainGUI、AC トレイ、ACWIICON モジュールを閉じます。
  `<path>¥qctray.exe/exit`
- Access Connections をモニター・モードに設定します。モニター・モードでは、Access Connections は接続の 制御権を他のアプリケーションに渡します。
  `<path>¥qctray.exe/setmonitormode`
- モニター・モードをリセットします。
  `<path>¥qctray.exe/resetmonitormode`
- すべての Access Connections プロセスを停止します。この処理には、管理者権限が必要であるため、コマンドは AcPrfMgrSvc を介して実行され、プロファイル・マネージャー・サービスを除く他の Access Connections プロセスをすべて閉じます。
  `<path>¥qctray.exe/killac`
- すべての Access Connections プロセスを再開します。この処理には、管理者権限が必要であるため、コマンドは AcPrfMgrSvc を介して実行されます。
  `<path>¥qctray.exe/startac`
- ワイヤレス・ネットワークを検索します。
  `<path>¥qctray.exe/findwlnw`
- QCTRAY ヘルプ情報を表示します。
  `<path>¥qctray.exe/help`

付録 B　特記事項

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、レノボ・ジャパンの営業担当員にお尋ねください。本書で Lenovo 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その Lenovo 製品、プログラム、または サービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、Lenovo の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の 製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、Lenovo 以外の製品、プログラム、またはサービスの動作・運用に関する評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

Lenovo は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について 実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

Lenovo (United States), Inc.
1009 Think Place - Building One
Morrisville, NC 27560
U.S.A.
Attention: Lenovo Director of Licensing

Lenovo およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態で提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示 もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が 禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。Lenovo は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書で説明される製品は、誤動作により人的な傷害または死亡を招く可能性のある移植またはその他の生命維持アプリケーションで使用されることを意図していません。本書に記載される情報が、Lenovo 製品仕様または保証に影響を与える、またはこれらを変更することはありません。本書におけるいかなる記述も、Lenovo あるいは第三者の知的所有権に基づく明示または黙示の使用許諾と補償を意味するものではありません。本書に記載されている情報はすべて特定の環境で得られたものであり、例として提示されるものです。他の稼働環境では、結果が異なる場合があります。

Lenovo は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本書において Lenovo 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この Lenovo 製品の資料の一部では ありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で 決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性がありますが、 その測定値が、一般に利用可能なシステムのものと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

商標

以下は、Lenovo Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Access Connections
Lenovo
ThinkVantage
ThinkPad

Microsoft、Windows および Windows Vista は、Microsoft グループの商標です。

Intel は、Intel Corporation または子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。